# まちづくりを"ジブンゴト"へ、 私たち市民一人一人ができること一

参加者は、全7回のワークショップを通して、 自分たちが思い描く、田村市の未来像を実現す るための方法について、検討を重ねてきました。 その成果として、5つの視点(分野)から市 民一人一人ができることをまとめました。

市は、これまでのたくさんの意見やアイデア を計画に反映し、身近な「まちづくりの手引書 (第2次田村市総合計画)」となるよう、今後も 作業を進めていきます。

### 産業振興



- 産業の更なるブランド化(生 産者・事業者・行政それぞれ が役割分担)
- (田村市の) 目玉となるもの を作り、情報発信・PR をする
- 小中学生にアンケートし、 農業体験や職業体験(市内外 含む)をする
- ●地域のつながりづくりや コーディネーターの育成 など



- ●特別講師として市民参画(技 術・能力がある方を教育の場  $\sim$ )
- ●体験授業、交流授業を増やす
- ●知識・個性を活かす場をつく る、人材発掘
- ●資格支援サポート(女性の再 就職支援) など

# ・福祉



- ●四位一体改革=市民・地域 関係団体・事業者がつながる 健康・医療・福祉
- ●趣味を生かしたボランティア 活動の実施(読み聞かせなど)
- ●退職後のコミュニティを構築 する
- ●福祉施設と幼稚園・こども園 との交流機会をつくる など

# 住環境



- 親子や友人でゴミ拾いに参加 し、その後にマイ箸・エコバッ グを作るイベントを開催(ゴ ミ拾いで終わらずに、学びに つながる)
- ●地域の奉仕作業に子どもも参 加させて、地域美化の意識付 けをする
- 地域の人たちとのコミュニティ の場を設ける(困り事や防犯 情報の共有) など



- 1 日 10 分、市のことを家族 で考える時間をつくる
- 思ったことを言えるような場 所、拾い上げる仕組み
- ●地域のお祭をローテーション で開催する
- やりたい人たちがつながる きっかけ
- ●住んでいる地域のコミュニティ だけでなく、田村市全体で考 えるなど



# 参加者 Voice

- ▶行政の方と共に話し合うこ とで市の考え、市民の考えを ぶつけ合えたことが良かった と思う。また、市民が考える ことが重要だと思った。
- ▶さまざまな考えを知り、共 に明日の田村市を話し合うこ とができ、大変有意義なワー クショップでした。







市では、今後10年間の未来や方向を描く、 「まちづくりの手引書(第2次田村市総合計 画)」づくりを行っています。

作成にあたり、将来の市のあるべき姿 と進むべき方向などを検討する「Tamura Future ワークショップ | を開催してきました。 ワークショップでは、参加者が意見を交換 し、思いを共有しながら検討を進め、これか らの田村市のために「市民一人一人ができる こと をまとめました。

その内容とこれまでの活動を紹介します。

加70員体ら

## テーマ・目的

「田村市」ってどんなまち? 総合計画への理解と市の現状の整理・把握

実際に「田村市」を見てみよう!(フィールドワーク) 実際にまち歩きし、「田村市」の魅力の再発見・共有

[田村市]、どんなまちにしたい? これからの田村市のキーワード抽出

SDG sとは?

「SDGs」について学ぶ 分野別の課題や取り組み検討に向けた視点の共有

「田村市」を見つめてみよう

市民が感じている課題や今後必要な取り組みの抽出

私たちには何ができるだろう?

市民のまちづくりへの意識醸成、ワークショップの振り返り

### 【写真:ワークショップの様子】

1\_第1回:田村市の良いところ、困っているところを書 き出し・整理 2 第2回:フィールドワークでうなぎ養 殖を行うニューフロンティア株式会社(滝根町)を見学 3\_アニマルフォレストうつしの森(船引町)を見学 4\_ 古代亀石(都路町)を見学 5\_第4回:SDGs について 学ぶ 6\_第7回:これまでのワークショップを振り返り、 田村市のために自分たちができることを考える 7 ワー クショップの全日程を終えて記念撮影

全ての回の開催結果は、

市ホームページに掲載しています。



Tamura February.2022